

独立行政法人
国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine
http://www.ncgm.go.jp/

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



連携医療NEWS

Vol.27 7月号

内容

- ・新任あいさつ 1
- ・2つの睥島移植 2
旬の味覚
- ・連携登録医のご紹介 3
- ・看護通信 4
画像検査予約の紹介

新任あいさつ

副院長

大西 真



平成26年4月1日付で国立国際医療研究センター病院の副院長を拝命致しました。

私は昭和55年に東京大学を卒業した後、東大病院の第三内科学教室に入局し、消化器・肝臓病領域の診療を行って参りました。また、東大病院の副院長として、入院診療の運営や医療安全、教育・研修等に携わって参りました。

この度、総務・経営・財務・教育・研究等担当の副院長を仰せつかり、病院の総務全般や医師の教育・研修等を推進し、当センター病院のさらなる発展に寄与していく所存です。

当センター病院は新外来棟が5月に完成し、診療機能とアメニティーはこれまで以上に向上しました。救急医療を含む日々の診療のみならず、総合医療・高度先進医療を推進する病院として、さらなる飛躍の時期に来ております。

医療安全の徹底と質の向上を図り、国際標準に則った医療の提供体制を確立し、さらなる診療機能の強化を図り、総合的臨床能力と高度な専門性を備えた研究開発志

向のある医師を養成して参ります。また、今後は地域医療連携もより一層促進していきたいと考えております。

当センター病院には多くのがん患者さんが通院や入院をなさっておりますが、最善の治療や手術を実施致します。がん患者さんが緩和ケアとなった際には万全の態勢で対応できるよう、緩和ケア医療のさらなる充実に努めて参りますので、患者さんのご紹介を頂くとともに、一層の連携を進めていきたいと思っております。

この度、東大医科研病院（港区）の緩和医療科の岩瀬哲先生とも連携を取ることとなり、「切れ目のない」緩和ケア医療を提供するために、地域の在宅医や訪問看護ステーションなどとの連携を推進していきたいと思っております。患者さんをケアしていくには、センター病院と地域の連携病院、必要に応じて東大医科研緩和医療科とが緊密に連携していくことが重要です。「顔の見える」地域連携が鍵になると思います。

当センター病院は紹介率100%、逆紹介率80%以上を目指して、一層円滑な地域との連携を推進していきたいと思っておりますので、積極的に患者さんのご紹介やクリニック等での治療が可能となった患者さんのお引き受けをお願い致たく存じます。その中であって、緩和ケア医療は極めて重要な課題であり、連携が難しい場合もしばしばあるとは存じますが、当センター病院は地域の先生方のニーズに最大限お応えし、患者さんの健康と福祉の増進に貢献して参りたいと思っております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

2つの膵島移植

膵島移植プロジェクト長

霜田 雅之

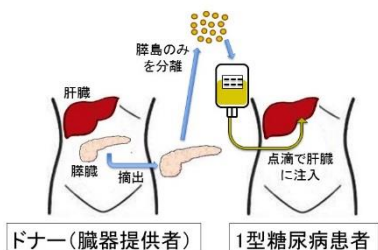


当センターは、H26年3月に膵島移植の実施施設として承認されました。膵島移植とは、膵臓を摘出して特殊な技術でばらばらにしてインスリンを分泌する膵島のみを分離・回収して患者さんに移植する治療です。大手術は不要で、移植は門脈にカテーテルを挿入して膵島細胞を注入するという低侵襲な治療です。当センターでは、2種類の膵島移植の臨床試験を行います。

1. 1型糖尿病に対する脳死または心停止ドナーからの同種膵島移植

綿密なインスリン治療によっても血糖コントロールが不安定で、特に低血糖発作を起こす1型糖尿病患者さんを対象とします。ドナーからの提供膵臓から膵島を分離し、門脈経由で肝臓に膵島を移植します。移植後血糖コントロールは安定化し、うまくいけばインスリン注射からの解放も期待できます。拒絶反応を防ぐために、免疫抑制剤を使用します。

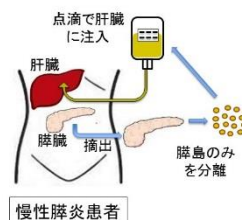
1型糖尿病に対する同種膵島移植



2. 慢性膵炎に対する膵切除+自家膵島移植

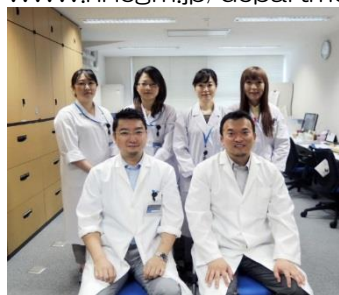
内科的治療ではコントロール困難な疼痛を伴う慢性膵炎患者が対象です。アルコール性膵炎でもかまいませんが、現在は禁酒していることが条件です。疼痛除去を目的に炎症の起っている部位の膵臓を切除（膵体尾部切除、膵頭十二指腸切除など。膵全摘も可能）します。しかし、膵切除により糖尿病発症の可能性があるため、切除膵から膵島のみを回収し、患者さん自身に移植（自家移植）する治療です。これにより除痛と糖尿病予防の効果が得られ、アメリカでは施設によっては標準治療となっています。

慢性膵炎に対する膵切除+自家膵島移植



現在当センターでは2つの膵島移植治療ともに登録患者さんを受け付けています。適応になりそうな患者さんがいらっしゃいましたら是非我々の外来（外科・膵島移植外来）にご紹介ください。我々のホームページにもご訪問ください。

<http://www.rincgm.jp/department/pro/O3/>



旬の味覚 鰯のから揚げ

管理栄養士

曾部 知恵



<材料・4人分> (1人分 エネルギー136kcal 塩分0.5g)

鰯・・・中4尾
塩、片栗粉・・・適宜
揚げ油・・・適宜
しそ・・・10枚
みょうが・・・1個

三杯酢 { 砂糖・・・大さじ1/2
酢・・・大さじ2
しょうゆ・・・大さじ1/2

- ① 三枚おろしにした鰯に軽く塩を振り、数分置いた後、水気をふきとってから片栗粉をまぶす。
- ② 揚げ油を170～180℃に熱し、鰯を揚げる。
- ③ 揚げた鰯に干切りにしたしそ、みょうがを盛り、三杯酢をかける。

<鰯について>

良質のたんぱく質を豊富に含み、青背魚の中では比較的低脂肪です。脂質が少ない分、不飽和脂肪酸のDHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（エイコサペンタエン酸）が豊富なため動脈硬化の予防に効果的です。暑さで食欲の落ちがちな夏場に三杯酢でさっぱりと食べられるメニューです。



連携登録医のご紹介

医療法人社団 壮仁会

三鷹あゆみクリニック

高橋 壮芳 先生

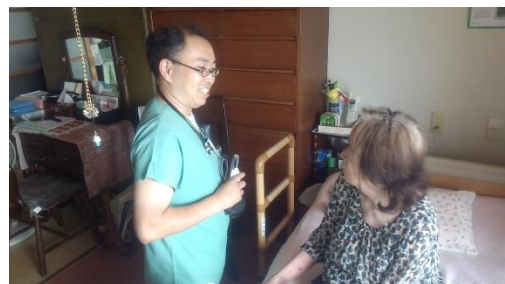


診療科 訪問診療（内科・神経内科）
住所 三鷹市上連雀7-32-32
コム・ドエリー 202号室
電話 0422-45-2922
FAX 0422-45-2952
診療時間 月曜日～金曜日
9:00～17:00
休診日 土曜日、日曜日、祝日

平成21年3月、東日本大震災の2日前に生まれ育った三鷹市に訪問診療を中心としたクリニックを開業いたしました。振り返れば大学4年生のときに将来の研修先候補として見学でお世話になったことを思い出します。その後10年以上が経ち、こうして連携医療機関として関わらせていただけること大変ありがたく思っています。

当クリニックは通院困難となった方ならばどなたでもお受けして訪問させて頂いております。単に年齢の影響で通院困難となった方でも、脳梗塞で歩行困難となった方でも、癌の末期でも特に疾患の別はありません。御自宅という最も安心できる場所で療養するお手伝いができれば嬉しく思います。

基本 ”断らない” ことをモットーにしています。まだまだ在宅医療が普及しているとはいえない状況です。御紹介いただいた方ひとりひとりをきちんと対応させて頂くことで少しでも在宅医療が普及し、患者さんが御自宅で穏やかに過ごすことができるようお手伝いができれば、と思っております。よろしくお願い致します。



医療法人社団親樹会

恵泉クリニック

太田 祥一 先生



診療科 訪問在宅診療、総合診療、内科全般
住所 世田谷区上祖師谷1-35-15 シオン烏山
電話 03-3326-5408
FAX 03-3326-5481
ホームページ <http://www.keisen.or.jp>
診療時間 訪問在宅診療 24時間対応
一般外来（予約制） 月曜日～金曜日
9:00～12:00
13:00～17:00
休診日 在宅訪問 休診なし
一般外来 土曜日、日曜日、祝日
交通 京王線 千歳烏山駅西口より徒歩5分
京王バス 千歳烏山下車徒歩3分

京王線の千歳烏山にある機能強化型在宅療養支援診療所で、世田谷区、杉並区、狛江市、三鷹市、調布市が訪問在宅診療の主なエリアです。

当院では、患者様とご家族のニーズにあった質の高い医療を、地域の医療機関、訪問看護ステーション、ケアマネジャーをはじめとした多くの職種の皆様と連携しながら、総合的に提供していきたいと考えています。そして、病気だけでなく、気持ちや生活も含めた幅広い視野から医療を見つめ直し、家庭や社会での充実した毎日を過ごしていただけることを使命と考えています。

- ☆ 訪問在宅診療を中心に、幅広く総合的な医療を提供します
- ☆ 医療機器を用いた高度な集中医療にも対応します
- ☆ ひとりひとりにあったオーダーメイドの診療を行ないます
- ☆ 24時間体制のチーム医療で患者様を支えます
- ☆ 緩和ケアやホスピスケアにも取り組んでいます
- ☆ 連携を重視し、患者様を地域全体で支えています

「あきらめない」「最善を尽くす」を合言葉に、一人でも多くの方に安心して幸せな人生を送っていただけるよう、患者様やご家族様と共に寄り添い、身近なかかりつけ医として取り組んでおります。





総合医療相談室が新外来棟に移転し、 「地域医療連携室」として、リニューアルしました



退院調整看護師も、変わらず看護師長・副看護師長との2名で在宅調整・相談

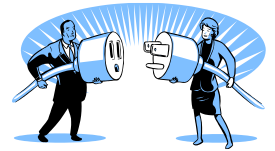
業務をおこなっております。気持ちも新たに、チーム医療の「要」として、様々な職種、院内外の方々と、「顔の見える連携」をモットーに、コミュニケーションを十分に行い、連携を深めたいと思っております。

また、相談支援窓口において、受診相談・療養相談をお受けしておりますので気軽にお声かけくださるよう、患者様にお話してください。

看護師の「小さな気づき・声掛け」を患者様の「大きな幸せ」に変えられるよう努めてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

退院調整 看護師 加藤・松村



画像検査予約の紹介

インターネットで画像検査の予約ができます

～予約から検査までの流れが簡単になります～

C@Rna導入前

1. 予約状況の確認
2. 予約空き状況の連絡
3. 患者さんに確認
4. 予約日時確定
5. 紹介状作成
6. 紹介患者さん受け入れ準備
7. 患者さん来院
8. 結果報告
9. 検査報告や所見レポートの送付



C@Rna導入後

1. 患者さんと画面を見ながら
 - ・ 予約日時を決定
 - ・ 同時に紹介状作成
2. 紹介患者さん受け入れ準備
3. 患者さん来院
4. 検査結果報告
5. 検査報告や所見レポートの送付



- > 連携医様からの画像検査依頼の電話で予約台帳を見ながらやり取りして日時を決めていた
- > 予約の確認、診療情報提供書、FAXのやり取りが面倒

- > インターネットの環境があれば無料で使用できます
- > 診療時間に関係なく、24時間365日予約が可能です
- > 患者さんの都合を聞きながらその場で予約決定できます
- > 患者さん用注意書、検査説明書等々がパソコンからプリントアウトできます

お問い合わせ：放射線診療部 画像検査受付 03-5273-5244

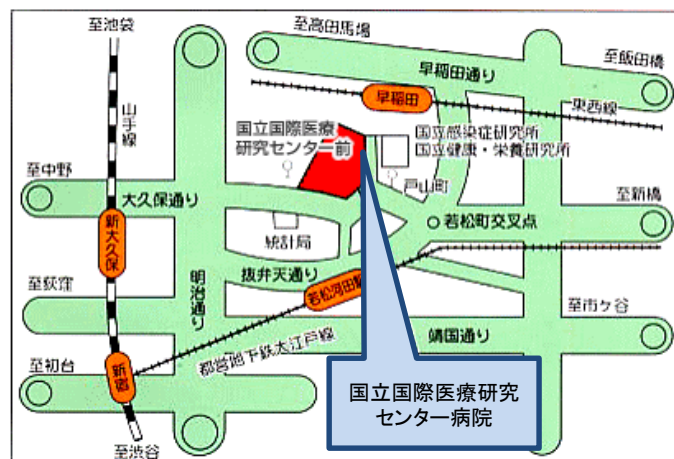
外来診療時間 8:30～17:15
 ・初診受付 紹介状が無い場合 8:30～11:00
 紹介状が有る場合 8:30～14:00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

・休診日 土・日・祝日・年末年始

アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038

ホームページ <http://www.ncgm.go.jp/>

